

1 決算総括表

(単位:百万円)

区分 事業名	収益的収支			資本的収支		
	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A)-(B)	収入 (C)	支出 (D)	差引 (C)-(D)
電気事業	(6,715) 7,468	(5,453) 5,814	(1,262) 1,654	(2,412) 1,012	(3,750) 3,748	(△ 1,338) △ 2,736
工業用水道事業	(2,592) 1,966	(4,270) 1,563	(△ 1,678) 403	(186) 1,280	(1,332) 1,987	(△ 1,146) △ 707
水道事業	(6,969) 6,930	(4,690) 4,925	(2,279) 2,005	(287) 1,467	(3,833) 5,709	(△ 3,546) △ 4,242
団地造成事業	(7,243) 4,820	(5,936) 3,825	(1,307) 995	(97) 104	(2,466) 3,199	(△ 2,369) △ 3,095
駐車場事業	(155) 149	(155) 149	(0) 0	(113) 119	(138) 138	(△ 25) △ 19
施設管理事業	(876) 838	(601) 671	(275) 167	(0) 43	(224) 333	(△ 224) △ 290
合計	(24,550) 22,171	(21,105) 16,947	(3,445) 5,224	(3,095) 4,025	(11,743) 15,114	(△ 8,648) △ 11,089

(注) 本表以下、金額はいずれも消費税抜きの金額で、()内は前年度決算額です。

2 損益の概要

(1) 総括表

(単位：百万円)

区分 \ 事業名		電気事業	工業用水道事業	水道事業	団地造成事業	駐車場事業	施設管理事業	合計
29年度 (A)	主たる収益(注)	7,276	1,666	6,117	4,708	110	818	20,695
	経常損益	1,594	395	2,003	947	0	167	5,106
	特別損益	60	8	2	48	0	0	118
	純損益	1,654	403	2,005	995	0	167	5,224
28年度 (B)	主たる収益(注)	6,519	1,665	6,298	7,190	103	852	22,627
	経常損益	1,259	327	2,215	1,307	△ 4	275	5,379
	特別損益	3	△ 2,005	64	0	4	0	△ 1,934
	純損益	1,262	△ 1,678	2,279	1,307	0	275	3,445
増減 (A)－(B)	主たる収益(注)	757	1	△ 181	△ 2,482	7	△ 34	△ 1,932
	経常損益	335	68	△ 212	△ 360	4	△ 108	△ 273
	特別損益	57	2,013	△ 62	48	△ 4	0	2,052
	純損益	392	2,081	△ 274	△ 312	0	△ 108	1,779

(注) 「主たる収益」は次のとおりです。

- 電 気 事 業：販売電力料
- 工 業 用 水 道 事 業：給水収益
- 水 道 事 業：給水収益
- 団 地 造 成 事 業：産業団地等の分譲収益
- 駐 車 場 事 業：駐車利用料金
- 施 設 管 理 事 業：格納庫及び賃貸ビルの賃貸収益、ゴルフ場の使用収益

(2) 事業別損益の状況

① 電気事業

(単位：百万円)

区 分	供給電力量 (kWh)	販売電力料	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
29年度(A)	801,489,668	7,276	1,594	60	1,654	平成28年度冬期の山間部の積雪量が多く、年間雨量も平年比で104%となり水力発電の供給電力量が増加したことに加え、売電契約の更改により販売電力料の平均単価が上昇したことなどにより、販売電力料、経常利益とも前年度に比べ増となり、純利益は3億92百万円増の16億54百万円となりました。
28年度(B)	732,909,019	6,519	1,259	3	1,262	
増減(A)-(B)	68,580,649	757	335	57	392	

② 工業用水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
29年度(A)	46,308,239	1,666	395	8	403	給水実績、給水収益ともほぼ前年度並みであったものの、減価償却費などの費用が減少したため、経常利益は前年度に比べ増となりました。 また、水需要の将来予測を下方修正し、平成28年度に東毛工業用水道の第二浄水場計画を廃止したことに伴い、建物等の資産を除却する会計処理による20億円余の特別損失等の影響がなくなったことから、純利益は4億3百万円となりました。
28年度(B)	46,353,381	1,665	327	△ 2,005	△ 1,678	
増減(A)-(B)	△ 45,142	1	68	2,013	2,081	

③ 水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
29年度(A)	83,133,860	6,117	2,003	2	2,005	給水実績が微増したものの、新田山田水道、東部地域水道及び県央第二水道の給水単価の引下げにより給水収益が減少したほか、原発事故に伴う放射性物質を含んだ浄水発生土も減少傾向にあることから、処理費用に係る東京電力からの損害賠償金収入の減などにより特別利益が減少したため、経常損益、純損益とも黒字幅が縮小しました。
28年度(B)	82,715,992	6,298	2,215	64	2,279	
増減(A)-(B)	417,868	△ 181	△ 212	△ 62	△ 274	

④ 団地造成事業

(単位：百万円)

区 分	分譲面積 (m ²)	分譲収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
29年度(A)	273,951	4,708	947	48	995	産業団地の分譲は平成28年度に引き続き好調であり、伊勢崎宮郷工業団地、桐生武井西工業団地などの分譲面積は合わせて27ヘクタール余となったものの、平成28年度の方譲面積37ヘクタール余と比べ約10ヘクタール減少したため、分譲収益は減となり、経常損益、純損益とも黒字幅が縮小し、純利益は9億95百万円となりました。
28年度(B)	374,540	7,190	1,307	0	1,307	
増減(A)-(B)	△ 100,589	△ 2,482	△ 360	48	△ 312	

⑤ 駐車場事業

(単位：百万円)

区 分	駐車台数 (台)	駐車 利用料金	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
29年度(A)	273,569	110	0	0	0	高崎駅に隣接する大型商業施設の開業に伴う駐車台数の増等により、駐車利用料金が増加しましたが、高崎市との協定に基づき、最終的な収支が均衡するよう負担金での調整を行うこととしているため、損益は収支均衡となっています。
28年度(B)	258,699	103	△ 4	4	0	
増減(A)-(B)	14,870	7	4	△ 4	0	

⑥ 施設管理事業

(単位：百万円)

区 分	ゴルフ場利用人員(人)	ゴルフ場収益 及び 賃貸収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
	賃貸ビル賃貸面積(m ²) 格納庫賃貸面積(m ²)					
29年度(A)	263,191	818	167	0	167	ゴルフ場事業では、利用人員は増加しましたが、降雪や台風の影響により営業できなかった期間が平成28年度より増加したことにより、指定管理者納付金が減少したことに加え、クラブハウス増改築に関わる費用が増加したこと、また、賃貸ビル事業では、入居団体が退去し収益が減少したことから、事業全体では、経常損益、純損益とも黒字幅が縮小しました。
	(注) 3,528					
	(注) 2,170					
28年度(B)	255,795	852	275	0	275	
	(注) 3,941					
	(注) 2,170					
増減(A)-(B)	7,396	△ 34	△ 108	0	△ 108	
	(注) △ 413					
	(注) 0					

(注)賃貸面積(m²)は、年間平均です。